

# 第1回 京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会 議事録

日時：平成29年8月3日 13:30～15:30

場所：京田辺市役所 305 会議室

## 〈出席者〉

郡篤委員長、市田委員、千田委員、荒川委員、米田委員、岩本委員、山崎委員、田中委員、吉房委員、太田委員、吉岡委員、西村委員、山本委員、柳生委員、西田委員

## 〈次第〉

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員・出席者紹介
5. 委員長の選出
6. 委員長あいさつ
7. 委員会の会議の公開等について
8. 審議事項
  - (1) 京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について
  - (2) アンケート調査の実施について
  - (3) その他
9. 閉会

## 〈委員会の会議の公開等について〉

原則公開とする

## 〈審議事項〉

- (1) 京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について

委員：実行計画の『区域』とは、どういう意味ですか。説明して頂きたい。  
それから内容の方ですが、計画素案が12月頃という事ですが、3ヶ月くらい前倒しにして具体的な議論をした方がいいのではないのでしょうか。

事務局：まず、『区域』というのは、『都道府県、市町村を対象とした計画』という意味の区域で、京田辺市でいうと、京田辺市域全体を対象とした計画が『区域』になります。

事務局：もう一つの質問、計画素案の前倒しという事につきまして、計画素案の作成前に、アンケートの実施や前回までの温室効果ガス排出量の推移と分析、そこか

ら課題の洗い出しをしなければなりません。これらの整理をなるべく早く行い、計画素案をなるべく早く作成できるよう進めていきたいと思いを。

委員長：これからアンケート調査について説明頂きますが、単に了承するのではなく、こういう観点をもっと必要ではないか、あるいは、こういう質問が欲しい、例えば、実行計画の認知度や、その計画に基づいて行動しているのかなどといった観点も含めて議論していただきたいと思いを。進捗状況や取組状況などを出来るだけ把握できるような形のアンケートにしていきたいと思いをしますので、ご協力をお願い致します。

## (2) アンケート調査の実施について

事務局より説明。

委員：(3)の選択肢について、『1. 設備購入の費用』とあるが、これは省エネ設備のことでしょうが、一般の人は何の設備か分からない可能性があります。『2. 手間や時間がかかる』も同様で、主語を加えて『省エネ生活は手間や時間がかかる』などと修正した方がよい。また、『地球温暖化問題』も『地球温暖化対策』とした方がよい。質問の仕方をもう少し柔らかく、一般の人が分かるような聞き方にしたらどうだろうか。

委員：(3)は小さくするなど、他の設問と違いが分かるようにしてはどうでしょうか。また、回答をどう生かすのか想定しながら設問を考えないと施策に反映できないと思う。

委員：表紙の文章について、1,200人にアンケートをすると書いてありますが、25,000世帯中の1,200人はかなり多い割合だと思います。そういう人達に対して、アンケートを頼むのですから、何の為にアンケートをするのか、趣旨や目的を丁寧に書くべきではないでしょうか。丁寧な説明がないと、真剣に書いてもらえないと思いを。

事務局：説明文を追加させていただきます。

委員長：私からも一つ、今回のアンケートでは住宅やエネルギーに関することばかり聞いていますが、まちなかの緑の問題や地産地消、農業などについて聞く設問があれば親しみやすい地球温暖化問題として捉えて貰えるのではないのでしょうか。例えば打ち水を心がけているとか、緑化に関すること、生きものに関することですね。近頃カエルの鳴き声を聞かなくなったとか、桜の開花が早くなったとか、セミの抜け殻が少なくなったとかを問う設問があれば、地球温暖化問題を身近なものとして考えられ答えやすいのではないかと思います。

委員：市の施策として例えば、どういった補助金をする予定をしているとか、緑化を推進するためにプランターの提供や種子の配布などを行うといったことを記載して頂けると、答える側にもイメージが伝わりやすいのではないかと。

断熱材にしても、こういう工事をすればいくら補助金が出るとか、これだけ CO<sub>2</sub> が削減出来るといったことが分かればやる気にも繋がると思います。

委員 長：アンケートを行う側の目線と、より京田辺市の実情を考慮し有効な結果が出せるようアンケート内容の検討をお願いします。

事務局 局：本日頂いた沢山のご意見につきましては、事務局にて協議を行いアンケートに反映したいと思います。

委員 長：前回の回答率はどうでしたか。

事務局 局：市民向けは 1,200 配布を行い、回収数が 554 で、率で言うと 46.2%となっています。事業所は 300 配布を行い、回収数が 93 で、率で言うと 31%となっています。

委員 長：今回はどのくらいの回収率を期待していますか。

事務局 局：前回よりは上回りたいと思います。そのためにも、まずはアンケートに関心を持っていただければいけません。分かりにくかったり、誤解をされやすい所を訂正して、より良いアンケートを作り、書いていただけるよう努力します。

委員 長：それでは、アンケートの修正案を委員の皆様へ送付頂いてもう一度目を通して、重要な問題だと思うものであれば、事務局に意見を伝えるという事で対応をお願いします。修正内容について、意見を言ったのに反映されていないという事もあるかもしれませんが、事務局の判断という事で了承くださいますようお願いいたします。

### (3) その他

委員 長：他にご意見、ご質問ありましたら、お願いしたいと思います。

私の方からは、京都府の地球温暖化防止活動推進員の方にこの会議に来て頂いて、京都府内でこういった取り組みをしているのかを紹介して頂く機会を設けて欲しいと事務局にお願いしています。それから、コンサルタントの方には、京都府だけでなく、他自治体で地球温暖化対策に効果がある取り組みの事例がありましたら、取り組みやすい所から、お金を出さないと出来ないハードな面も含めて、是非とも紹介して頂けたらと思っております。皆様方の中にも地球温暖化対策に効果がある取り組みをご存知でしたら、是非とも事務局に言って頂けたらと思います。

事務局 局：次回の予定をお伝えします。

10月の月上旬に第2回目の委員会の開催を予定しております。詳細が決まりましたら、連絡して調整をさせて頂こうと思います。次回はアンケートの結果報告、それから、これまでの取り組みなどの評価をして頂く予定でおります。

## < 9. 閉会 >